



EASTS (Eastern Asia Society
for Transportation Studies)
EASTS-Japan (アジア交通学会)
ご案内

2015-2016年度版



www.easts.info
www.easts.info/eastsjapan/



Eastern Asia Society for Transportation Studies EASTSとアジア交通学会 (EASTS-Japan) のご案内

アジア交通学会 (EASTS-Japan) 会長
筑波大学教授
石田 東生



アジア交通学会 (EASTS-Japan) 事務局長
東京海洋大学教授
兵藤 哲朗



1. EASTS の役割

EASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) は、アジアの各国/地域における産官学の専門家が交通問題に関する議論、研究、人的交流を広く活性化させることを狙いとして、1994年に設立された学会です。アジア諸国/地域は、世界で最も経済成長が著しく、活発な交通インフラ投資が行われている地域である一方、世界で最も深刻な交通問題に悩む地域でもあります。しかし、多くの国/地域では、今なお、交通の専門家が質・量共に不足し、同種の交通・都市問題を抱えるにも関わらず情報交換が不十分であります。また、それらの専門家は、経済的制約のために先進国の国際会議に参加する機会も少なく、発展途上国特有の問題に対する研究も十分に行われているとは言えません。同様の問題を抱えるアジア地域において、研究、実務の成果の共有化を進めることが必須であります。

このような趣旨に基づき、産官学からの多大な協力を受けて、1994年11月に、EASTSが設立されました。設立以来、ちょうど20年が経過し、その間、国際会議の出席者数、論文数も増加し、各種活動の質・量共に大幅に拡大しています。

EASTSは、①国際会議を通じた研究者の交流、②ジャーナル・プロシーディングスの刊行、③セミナー、ワークショップの企画実施、④シンポジウムによる社会の啓蒙活動、⑤交通関連国際データベースの構築による情報の共有化、⑥ホームページ、会員メーリングリストによる情報発信や共有化、等を活発に行い、交通問題改善のために、

会員相互の学術の向上と社会への研究成果の還元を目指しています。

日本においては、1995年8月にアジア交通学会 (EASTS-Japan) が設立され、国際会議やシンポジウム等を通じて、アジア地域の交通専門家と活発な情報交換を続けており、その貢献は高く評価されています。

また、アジア交通学会は、途上国の若手研究者の国際会議参加、アジア地域の研究者による国際共同研究等に対して、経済的な支援を行っています (パンフレット最後尾の表-8, 表-9に、役員及び法人会員の一覧を記載しています)。

2. EASTS の特徴

- 単なる国際学会にとどまらず、各国/各地域に独自の学会を設立することにより、ネットワークとして機能する組織でもあります。これまでに18の国と地域が参画し(図-1)、正会員数は1,400人を超えています(表-1)。また、各支部学会が行う活動に対し、支援や共催の形で協力を行っています。
- 国際会議を隔年で開催し、アジア地域の大学研究者に限らない、役所や実務家も含めた交通専門家同士の活発な学術的交流や情報交換の場を提供しています。
- ピア・レビューを行っている学術論文集 (Journal of EASTS)、及び、講演集 (Proceedings of EASTS)を出版し、さらに学術的に高度な論文はアジア交通研究 (Asian Transport Studies, ATS)として定期オンラインジャーナルを発行するなど、アジアにおける交通問題の解決に寄与する学術の発展に貢献しています。

オーストラリア
National Committee on Transport Engineering

カンボジア
Cambodia Society for Transportation Studies

中国
Society for Transportation and Logistics Studies, CCTA

香港
Hong Kong Society for Transportation Studies

インドネシア
Indonesia Transportation Society

日本
EASTS-Japan

韓国
Korean Society of Transportation

ラオス
Lao-EASTS

マレーシア
Transportation Science Society of Malaysia

モンゴル
Mongolian Transport Research Society

ミャンマー
Committee on Myanmar Transportation Studies

ネパール
Society of Transport Engineers, Nepal

ニュージーランド
EASTS New Zealand

フィリピン
Transportation Science Society of the Philippines

シンガポール
Centre for Transportation Research/
Institute of Engineers Singapore

スリランカ
Sri Lanka Society for Transport & Logistics

台湾
Chinese Institute of Transportation

タイ
Thai Society for Transportation and Traffic Studies

ベトナム
Transportation Studies Society of Vietnam

図-1 EASTSを構成する各学会(英語国名・地域名のアルファベット順)

表-1 EASTS会員数(2015年9月現在)

国/地域	会員数		合計
	正会員	学生会員	
オーストラリア	46	0	46
カンボジア	17	6	23
中国	107	17	124
香港	11	4	15
インドネシア	121	1	122
日本	406	86	492
韓国	113	24	137
ラオス	21	0	21
マレーシア	10	8	18
モンゴル	17	1	18
ミャンマー	23	0	23
ネパール	31	1	32
ニュージーランド	16	0	16
フィリピン	60	56	116
シンガポール	8	2	10
スリランカ*	22	0	22
台湾	133	14	147
タイ	50	45	95
ベトナム	68	14	82
個人会員**	58	---	58
合計	1,338	279	1,617

*スリランカ加盟の正式承認は2016年の予定

**EASTS加盟国外の会員

表-2 EASTS役員一覧(2015年9月現在)

役職等	氏名	所属等
会長	屋井 鉄雄	東京工業大学 教授
第1副会長	Pichai TANEERANANON	プリンスオブソククラ大学 教授(タイ)
第2副会長	Tran Tuan HIEP	交通運輸大学 教授(ベトナム)
事務局長	岡本 直久	筑波大学 教授
財務担当	兵藤 哲朗	東京海洋大学 教授
国際学術委員会		
委員長	藤原 章正	広島大学 教授
国際会議運営委員会(2017年ピンズオン大会)		
委員長	Tran Tuan HIEP	前掲
歴代会長		
1994~1997年	中村 英夫	東京大学 名誉教授
1997~2003年	Primitivo C. CAL	フィリピン大学 教授
2003~2007年	森地 茂	政策研究大学院大学 教授
2007~2011年	Kyung Soo CHON	ソウル国立大学 教授
2011~2015年	Cheng-Min FENG	国立交通大学 教授

- 国際的な研究グループの設立を支援し、一部の優れたグループに対しては研究費の助成を行っています。
- 将来、交通・都市計画の専門家となるであろう途上国の若手研究者に対し、国際会議参加時の渡航費や滞在費の補助を行っています。

3. EASTSの運営

EASTSの運営は、会長、副会長、事務局長、財務担当、及び、各国代表者によって構成される理事会で重要案件が審議され、審議事項の具体化が活発に行われています(表-2)。特に、EASTSの最も重要かつ大きなイベントである国際会議に関して、学術論文の募集及び審査

表-3 過去の国際会議一覧(最近5会議分)

会議／開催日	開催地	テーマ	論文数 (アカデミック/ プラクティカル)	参加者数
第11回 セブ会議 2015年9月11日～14日	Radisson Blu Hotel Cebu, Cebu, Philippines	Resilient and Inclusive Transportation Systems through Smarter Mobility	475	
第10回 台北会議 2013年9月9日～12日	Chang Yung-Fa Foundation Building, Taipei, Taiwan	Towards A Harmonized Transportation Society	500 (401/99)	892
第9回 濟州会議 2011年6月20日～23日	ICC JEJU, Jeju, Korea	Green Growth and Transport	425	663
第8回 スラバヤ会議 2009年11月16日～19日	Shangri-la Hotel in Surabaya, Indonesia	Enhancing Transportation Infrastructure and Services in Rapid Regional Growth	535	648
第7回 大連会議 2007年9月24日～27日	Dalian Maritime University, Dalian	Towards Integrated Transportation for Rising Asia	509 (405/104)	779

写真-1
スペシャルセッション写真-2
口頭発表セッション写真-3 ポスター
発表セッション写真-4
論文賞表彰の様子

は国際学術委員会が、会議の運営は国際会議運営委員会が中心となって行います。国際会議は隔年で実施され、現在までに11回の会議が行われています。また、中間年には、理事会を開催しています。

4. EASTSの主な活動

(1) 国際会議

EASTSの国際会議は、1995年の第1回マニラ会議(フィリピン)を皮切りに、第2回ソウル会議(韓国)、第3回台北会議(台湾)、第4回ハノイ会議(ベトナム)、第5回福岡会議(日本)をはじめ、これまでに11の会議が開催されています(表-3)。2017年9月には、第12回会議をビンズオン(ベトナム)において開催する予定です。

会議における発表論文数は着実に増加しており、アジア諸国からのEASTSに対する関心の高まりを示す結果であります。学術論文発表以外にも、国際共同研究の成果や特定課題の集中議論を目的としたスペシャルセッション、広くアジア地域において課題となるような問題をテーマとしたパネルディスカッションも開催しています(写真-1, 2, 3, 4, セブ会議の様子)。

(2) ジャーナル等の刊行

EASTSが発行する主な出版物には、国際会議

の成果を収めたものとして、特に選ばれた論文を掲載するアジア交通研究(ATIS: Asian Transport Studies)と学術論文集(Journal of EASTS)、講演集(Proceedings of EASTS)があります。また、学会ホームページを通じて、情報を発信しています。

学術論文集、講演集は国際会議毎に発行され、またアジア交通研究(ATIS)は定期オンラインジャーナルとして発行され、いずれも、査読者三名による審査を通過した論文のみが掲載される学術誌です。従前は印刷物を配付していましたが、出版物のオンライン化を進めた結果、いずれの出版物についても、どなたでも学会ホームページで内容を閲覧することができるようになりました。

最新の第11回セブ会議のトピックは表-4の通りであり、内容は極めて多岐に渡ります。このことは、東アジアにおける交通問題が極めて多様であり、交通研究者がそれに対して共通認識を有していることを示唆するものです。また、第3回国際会議以降、最優秀論文賞、優秀論文賞を授与しています。

(3) 情報発信

EASTSでは、全ての情報発信をインターネットにより行っています。学会ホームページでは、

表-4 セブ大会(2015)における研究トピック

トピック/セッション名 (一部省略)	
• 交通一般	アジア特有の課題, 交通と貧困削減, 国際協力, 調査とデータ収集, 交通と自然災害
• 交通の経済と政策	プライシング, 財源, 事業評価, 規制(緩和)・民営化等, 交通需要管理政策, ITS政策, マルチモーダル交通政策, 持続可能な交通政策
• 交通需要の分析と予測	交通行動分析, 交通需要モデリングと予測, ネットワーク分析と交通の割り当て
• 物流と貨物輸送	物流と貨物輸送政策, 国際・地域間物流, 都市物流, 物流ビジネスにおける運営と管理
• 地域の計画と環境	都市・地域計画, 土地利用と空間分析, 交通と環境, 交通とエネルギー, 景観と都市デザイン, 観光とレジャー活動
• 公共交通とノンモータライズド交通	都市間鉄道, 都市鉄道・LRT・ガイド交通システム, バス・BRT, パラトランジット, 歩行者・自転車, 駅・停留所施設, 交通と都市地域開発
• 高速道路のデザインと維持管理	高速道路計画とデザイン, 舗装, 道路維持管理, 駐車施設
• 道路交通工学	運転と運転者のモデリング, 交通流分析, 高速道路の要領とサービス水準, ネットワークデザイン, 交通と信号制御, 交通シミュレーション, 自動二輪車, ITS
• 交通事故と交通安全	事故分析, 運転挙動と安全, 安全とITS技術
• 航空と水上交通	航空/水上交通政策, 空港/港湾の計画と工学・管理, 航空と水上交通の政策, 航空と水上交通の運営と管理
• 実践的トピック	工学・技術・デザイン, 政策・計画・管理, 制度・組織・財源 等

規約, 出版物, EASTSの組織構成, 各種イベント(国際会議開催の案内, 代表者会議の報告, 各国国内学会の活動報告, シンポジウム, 交通関連のニュース記事等), 入会方法, 研究支援等に関する情報を掲載しています。

また, 正会員をはじめ, 希望者を対象とした電子メーリングリストを用いて, EASTSの活動のみならず, アジアにおける交通関連の諸情報をいち早く配信しています。

(4) 国際共同研究の推進

EASTSは, 複数の国や地域の研究者が国際研究グループを組織して行う研究のうち, より優れた研究成果が期待できるテーマに対して, 研究費支援(ICRA: International Cooperative Research Activity)を行っています。過去には12の研究グループがそれぞれ2年の研究期間で行いました。現在は, 表-5に示すように幅広く

研究が行われています。

また, 国際的な連携を図り, EASTSにおける研究活動の活性化を目的として, 2005年より幾つかの国際研究グループによる研究プロジェクト(IRG: International Research Group)の採択を開始しました。現在, 表-6に示す10の研究プロジェクトが進行中です。IRGに承認された研究プロジェクトには, EASTSの国際会議においてスペシャルセッション実施の優先権が与えられ, 研究費支援(ICRA)に応募する資格を得られる等のメリットがあります。

(5) シンポジウム/セミナー

EASTSの日本支部であるアジア交通学会(EASTS-Japan)は, 関連機関との共催により, シンポジウムやセミナーを開催しています(表-7)。2004年10月にはEASTS創立10周年, 2014年10月には20周年を記念したシンポジウムを東京で開催し, 国内外から数多くの方にご出席頂きました。

5. 入会・出版物のご案内

(1) 入会のご案内

本学会にご興味を持たれた方は, 是非, EASTS及びEASTS-Japanホームページをご覧ください。日本在住の方は, 日本人, 外国人を問わず, EASTS-Japanの会員となることにより, 次のような特典を享受することができます。

- 正会員, 学生会員, 名誉会員は, EASTS国際会議の参加登録料の割引を受けることができます。また, 本会の主催する研究会・講演会等に無料で参加できます。
- 法人会員は, 1口当たり2名が, EASTS国際会議の参加登録料割引を受けることができ, 本会の主催する研究会・講演会等には無料で参加できます。また, 国際会議開催時には, 会議論文集が1部配布されます。

また, 年会費は,

- 正会員: 4,000円/2年
- 学生会員: 2,000円/2年
- 法人会員: 1口10万円/年

となっています。入会をご希望される方は, 入会申込書をご記入頂いた上で, EASTS-Japan事務局までE-mailまたはFaxでお知らせ下さい。

(2) ジャーナルのご案内

アジア交通研究(ATS), 過去の国際学会の学術論文集及び講演集に収められた論文等は, すべてオンラインでアクセス可能です。また, EASTSに関連するその他の出版物の情報についてもご覧いただけます。URLは次の通りです。
www.easts.info/publications/publications.html

表－5 ICRA採択研究プロジェクト(2014年以降採択分, 2015年9月現在)

期 間	研 究 題 目	代 表 者 名 (所 属)
2015-2017(ICRA-A)	IRG-22-2013: Integrated sign systems for non-motorized transport and transit users	Dr. Hiroshi Tsukaguchi, Ritsumeikan University, Japan
2014-2016(ICRA-A)	IRG-21-2013: Comparative Study on Quality Management for Public Transport Systems in Asian Cities (QM4PTA)	Dr. Vu Anh Tuan, Vietnamese-German University, Vietnam

表－6 IRG採択研究プロジェクト(2015年9月現在活動中のもの)

IRG番号	研 究 題 目	代 表 者 名 (所 属)
IRG-28-2015	Motorcycle, motor scooter, motorbike ownership and use in South East Asia city	Dr. Chu Cong Minh, University of Communication and Transport, Ha Noi, Vietnam
IRG-27-2014	Research on Promoting Sustainable Rural Area Development through Roadside Station	Dr. Asralt Buyantsogt, Mongolian University of Science and Technology, Mongol
IRG-26-2014	Institutions for Railway Development in Asian Cities (IRDAC)	Dr. Shigeru Morichi, National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS), Japan
IRG-25-2013	Mobile Millennium Asia: Mobile Productivity and Utility Tools for Inclusive Urban Mobility	Dr. Francis Aldrine A. Uy, Mapua Institute of Technology, Philippines
IRG-24-2013	Viability of Public Transport Harmonizing System with Para-Transit Modes	Dr. Tetsuo Yai, Tokyo Institute of Technology, Japan
IRG-23-2013	International Comparative Research on Value of Travel Time in Asia	Dr. Hironori Kato, The University of Tokyo, Japan
IRG-22-2013	Integrated sign systems for non-motorized transport and transit users	Dr. Hiroshi Tsukaguchi, Ritsumeikan University, Japan
IRG-21-2013	Comparative Study on Quality Management for Public Transport Systems in Asian Cities (QM4PTA)	Dr. Vu Anh Tuan, Vietnamese-German University, Vietnam
IRG-18-2012	Strategies for a Sustainable Transportation Path for Small- and Medium-sized Cities in East Asia	Dr. Alexis M. Fillone, De La Salle University-Manila, Philippines
IRG-17-2011	Logistics in Asia: Interdependent Supply Chain and Advancement of Intelligent Management	Dr. Tetsuro Hyodo, Tokyo University of Marine Science and Technology, Japan

表－7 EASTSシンポジウム／アジア交通学会セミナー(2014年7月以降開催分, 2015年9月現在)

EASTSシンポジウム名称	開催日時・場所	主催・共催 等
EASTS, EASTS-Japan設立20周年記念シンポジウム アジアの交通の未来	2014年10月24日(金), 9:00-17:35 芝浦工業大学豊洲キャンパス交流棟	<ul style="list-style-type: none"> EASTS, アジア交通学会(主催) 国土交通省, 東京都, 土木学会, 日本交通学会, 運輸政策研究機構, 計画・交通研究会(後援) 東日本旅客鉄道株式会社, 東京地下鉄株式会社(協賛)
アジアにおける新幹線と駅周辺の都市開発 －国際比較研究－	2014年7月4日(金), 13:30～17:00 政策研究大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> 政策研究大学院大学(主催) EASTS(共催) (一財)運輸政策研究機構(後援)
アジア交通学会セミナー名称	開催日時・場所	主催・共催 等
途上国都市交通計画セミナーシリーズ 第2回: 開発途上国におけるパラトランジットの現状と将来	2015年4月20日(月), 13:00-16:45, 東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> 東京工業大学イノベーション研究推進体「先端的交通研究ユニット(TSU)」(主催) 土木学会土木計画学研究委員会、アジア交通学会、計画交通研究会(後援)
第3回EASTS-Japanセミナー The 3rd IWATS (International Workshop on Advanced Transport Studies): International workshop on context and social interactions in activity and travel decisions	2015年3月4日(水), 9:00-19:00, 広島大学国際協力研究科大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 広島大学ASMO Center(主催) EASTS-Japan(共催)
途上国都市交通計画セミナーシリーズ 第1回コロンボ: 軌道系交通融合へのチャレンジ	2015年2月4日(水), 17:00-19:00, 東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> EASTS-Japan(主催) JICA社会基盤・平和構築部(協力)
第2回EASTS-Japanセミナー 持続可能な都市開発のモデル分析に関するシンポジウム	2014年9月19日(金), 13:00-17:30, 日本大学理工学部駿河台キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> 日本大学大学院理工学研究科交通研究センター, 日本環境共生学会, システム・ダイナミクス学会日本支部(主催) アジア交通学会, 土木計画学国際小委員会(共催)

表－8 アジア交通学会(EASTS-Japan)役員一覧(各役職50音順, 2015年9月現在)

役職	氏名	所属等
会長	石田 東生	筑波大学教授
副会長	中条 潮	慶應義塾大学教授
理事	朝倉 康夫	東京工業大学教授
同	家田 仁	東京大学教授
同	伊東 誠	(一財)運輸政策研究機構 主席研究員
同	稲村 肇	東北工業大学教授
同	岩田 鎮男	(株)アルメックVPI会長
同	内山 久雄	東京理科大学教授
同	太田 和博	専修大学教授
同	佐藤 馨一	北海商科大学教授
同	谷口 栄一	京都大学教授
同	林 良嗣	名古屋大学教授

役職	氏名	所属等
同	福田 敦	日本大学教授
同*	兵藤 哲朗	東京海洋大学教授
同	溝上 章志	熊本大学教授
同	宮本 和明	東京都市大学教授
同	森地 茂	政策研究大学院大学 政策研究センター所長
同	屋井 鉄雄	東京工業大学教授
同	山内 弘隆	一橋大学教授
同	山川 朝生	日本工営(株)取締役副社長
監事	遠藤 玲	芝浦工業大学教授
同	富田 英治	(一財)国際臨海開発研究 センター理事長
同	根本 敏則	一橋大学教授

*兵藤理事は事務局長兼任

表－9 アジア交通学会(EASTS-Japan)法人会員, 法人賛助会員一覧
(左から右, 上から下へ, 和文法人名の50音順)

法人会員(2015年9月現在)		
(株)アルメックVPI	(一財)運輸政策研究機構	(一財)運輸調査局
(株)エイト日本技術開発	(一財)沿岸技術研究センター	小田急電鉄(株)
(株)オリエンタルコンサルタンツ	(一社)海外運輸協力協会	(一社)海外鉄道技術協力協会
鹿島建設(株)	(一財)計量計画研究所	(一社)建設コンサルタンツ協会
(株)建設技術研究所	(公財)高速道路調査会	(独)国際協力機構
(一財)国際臨海開発研究センター	(一財)国土技術研究センター	清水建設(株)
(株)社会システム	首都高速道路(株)	(株)スマートインフラ総合研究所
大成建設(株)	(公財)鉄道総合技術研究所	東京急行電鉄(株)
東京地下鉄(株)	東京モノレール(株)	(株)東芝
中日本高速道路(株)	成田国際空港(株)	日本工営(株)
(公社)日本交通計画協会	(公社)日本港湾協会	日本コンサルタンツ(株)
(公社)日本道路協会	(一社)日本道路建設業協会	(一社)日本民営鉄道協会
阪神高速道路(株)	東日本旅客鉄道(株)	三菱重工業(株)
(株)三菱総合研究所	(一財)みなと総合研究財団	八千代エンジニアリング(株)
法人賛助会員(2015年9月現在)		
(一財)空港環境整備協会	(一社)交通工学研究会	定期航空協会

■次回国際会議: 第12回EASTSビンズオン会議

2017年9月(日付未定) ベトナム社会主義共和国, ビンズオン市

(今後の予定)

- ・Call for Paper公表
- ・学術論文投稿締切

※最新情報は学会ホームページをご確認ください

アジア交通学会 (EASTS-Japan) 事務局 お問い合わせ先
〒100-6005
東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビル5F-28

Tel: 03-4334-8157

Fax: 03-4334-8158

Email: easts@easts.info

Website: www.easts.info/eastsjapan/

2015年9月発行